

地域への取組み

CSRの取組み ～地域社会・地域経済への貢献～

当行の経営理念である「地域とともに」「お客さまのために」「『親切』の心で」の実現に向け、地域社会の活性化と持続可能性を高めるためのさまざまな活動を行っております。

地域金融機関としての企業活動の一層の充実をねらいとして、平成23年7月にお客さまサービス

東日本大震災に対する取組み

復興に向けた取組み

このたびの東日本大震災により被害を受けられた被災者の皆さまに対しまして、心よりお見舞い申し上げます。当行では、東日本大震災により千葉県の経済活動が様々な影響を受けるなか、被害を受けられた皆さまの災害復旧等にお役立ていただくために、様々な取組みを行っております。

「災害復旧支援ローン」の取扱い

(取扱期間:平成23年3月18日～平成24年3月30日)

災害復旧にかかる住宅関連資金(土地・住宅の購入、新築・改修資金等)

災害復旧支援資金「頑張ろう！千葉」の取扱い

(取扱期間:平成23年3月18日～平成24年3月30日)

災害復旧に伴う事業資金(運転・設備)

*詳細については、お近くのちば興銀窓口までお問い合わせください。

その他、全店舗に「東日本大震災関連ご融資相談窓口」を設置し、ご相談を承る体制を整備しております。「特別相談会」も実施いたしました。

また、県内被災地の復興等に役立てていただくため、当行及び関連会社役職員から義援金を募り千葉県災害対策本部等へ寄付いたしました。

「がんばろう千葉」キャンペーンへの取組み ～「がんばろう千葉応援隊」に参加～

当行では、千葉県経済の活性化を応援する様々な取組みを行っております。

千葉県が実施する「がんばろう千葉」キャンペーンおよび「がんばろう千葉応援隊」の趣旨に賛同し、法人として応援隊に加入しております。

<がんばろう千葉>

定期預金チーバくん定期の販売&寄付金を贈呈

(販売期間:平成23年6月1日～7月29日)

お客さまにお預入れいただいた定期預金の残高に応じて、当行が千葉県災害義援金へ寄付(*)を行う定期預金を発売いたしました。お客さまにご好評をいただき、平成23年8月10日に、約360万円を千葉県災害義援金に寄付いたしました。

(*)寄付に関してお客さまのご負担はございません。



部内に「地域CSR推進室」を設置いたしました。今後も、地域金融機関としてこれまで以上に地域に対する社会的責任を果たすべく、具体的な取組みを積極的に展開してまいります。

「がんばろう千葉」千葉県産応援キャンペーンの後援

(実施日:平成23年5月3日～5日)

館山道市原サービスエリア(上り車線)で開催した、千葉県産の生鮮食品、農水産加工品他
のPRおよび販売に関するイベント(「がんばろう千葉」@館山道 市原SA)を後援いたしました。

「がんばろう千葉 宿泊施設利用特別補助金制度」を実施

(実施日:平成23年6月10日～10月31日)

当行役職員への県内観光施設利用促進策として実施いたしました。当行役職員が、旅行
目的で県内宿泊施設に宿泊した場合の費用について一定額を補助するものです。

「がんばろう！千葉 がんばろう！東北 ちば興銀スペシャルナイター」を開催

(実施日:平成23年7月30日)

QVCマリンフィールドにて県内観光応援イベントを開催いたしました。千葉県や千葉県
観光物産協会等と協力し、球場入場者先着1万5千名に観光ガイドブックを配布、県内観光
施設の招待チケット等が当たる抽選会も実施するなど、来場者に千葉県の魅力をPRいた
しました。

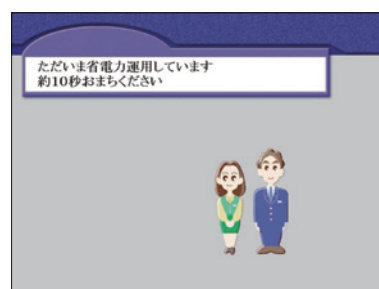
「がんばろう千葉」キャンペーンについては下記千葉県HPをご参照ください。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kouhou/miryoku/ganbaro/index.html>

当行は、今後も千葉を元気にするための様々な活動を行ってまいります。被害を受けられた
皆さまの一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

節電への取組み ～ 全ATMの省電力化対応を実施！～

節電および環境への取組み(CO₂削減)の一環として、
店舗内・店舗外全てのATMを省電力モードにて運用して
おります。標準取引を前提とした算出にて、約25%の
消費電力削減が可能となります。

お客さまには、ATMが起動するまで約10秒お待ち
いただく場合がございますが、何卒ご了承くださいませ
ようお願い申し上げます。



経営方針

平成23年度
中間期の
概要

トピックス

地域への
取組み

経営・内部
管理体制等

中間財務
諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・
株主の状況

中間連結
決算

自己資本の
充実の状況等
について

次世代育成への取組み

当行では地域金融機関として、次世代育成支援に取組んでおります。次世代育成支援対策の浸透を図ることで、地域社会の活性化、ひいては千葉県経済全体の発展につなげていきたい、との思いから各種取組みを行っております。

夏休み体験隊「サマーキッズスクール2011」の開催！

県内在住の小学校5・6年生を対象として開催しており、今回で5回目となります。今年は東日本大震災からの復興を支援する取組みとして、被災地のひとつである香取市の小学生を中心に招待いたしました。

当日は、QVCマリンフィード内の見学や、銀行やお金の仕組み等について学び、さらに、当日のマリーンズ戦のマッチカードプログラムを販売する「働く」体験をすることで、大切なお金に関する理解を深めていただきました。また、働いた対価として得たお給料(当日スクール内で使えるチケット)の一部を義援金として寄付いただきました。

(平成23年8月10日千葉県に寄付金贈呈)

平成23年7月30日実施



講師/
千葉商科大学
大学院教授
伊藤 宏一 先生



「エコノミクス甲子園千葉大会」の開催！

県内で3回目となる高校生を対象とした全国高校生金融経済クイズ選手権(エコノミクス甲子園)千葉大会を、当行本店大講堂にて開催いたしました。クイズを通して、将来必要となる金融知力を伸ばすきっかけとするためのイベントです。金融経済教育の普及を図るためにNPO法人金融知力普及協会が実施しており、従来同様、当行と千葉銀行と共同で主催いたしました。

(後援:千葉県・千葉県教育委員会・千葉県金融広報委員会)

平成23年12月18日実施



地域活性化への取組み

「千産千商2011 がんばろう！千葉 おいしい食べもの直売会」の開催！

当行と聖徳大学短期大学部との間で昨年締結した産学連携協定に基づき実施する取組みのひとつであり、今年で2回目の開催となります。今回は聖徳大学で開催された学園祭『聖徳祭』にて行いました。

当日は、聖徳短大総合文化学科の学生が考案した“千産千消”弁当を、県内弁当製造大手である万葉軒が商品化し、本学園祭で販売いたしました。また、取引先企業が出展するとともに、チーバくんも登場し、千葉県の魅力ある商品・食材を多くの方にご紹介いたしました。

平成23年11月5日・6日実施



中小企業育成への取組み

「千葉元気印企業大賞」

平成7年度より、フジサンケイビジネスアイ(日本工業新聞社)との共催で、千葉県の活気あふれる中小企業・ベンチャー企業の表彰を通じて地域企業の発展を支援しております。



次世代経営者育成への取組み

ちば興銀「経営塾」

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に開催しております。これまでに100名を超える塾生が学び、平成22年10月からは第四期生のプログラムがスタートしております。



最近の活動状況

- 23/6 リスクマネジメント講座 第2講
- 23/7 地域活性化セミナー
(千葉ロッテマリーンズ共同企画)
- 23/9 リスクマネジメント講座 第3講
- 23/10 インドセミナー
- 23/11 営業力強化セミナー



中小企業へ向けた取組み

「次世代経営研究講座」

地元中小企業のさらなる発展を支援するため、経営の質を高めて業績向上・企業発展を目指す「経営品質向上プログラム」をご紹介します。本講座では6か月12回にわたり、新しい経営のあり方を考えていただきます。

平成23年5月から10月までの期間、成田市内において実施いたしました。

講師/
ヒューマンウェア・コンサルティング株式会社
渡辺 昇 先生 (日本経営品質学会副会長)



経営方針

平成23年度
中間期の
概要

トピックス

地域への
取組み

経営・内部
管理体制等

中間財務
諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・
株主の状況

中間連結
決算

自己資本の
充実の状況等
について

文化・スポーツ活動

「美しい房総」写真展の開催

美しい郷土・風景をお楽しみいただこうと、季節にあわせ、県内写真家の傑作を当行の営業店ロビー等で随時展示しております。



コスモスコンサートの開催

地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、JR千葉駅前広場にて年2回(6月「祝・千葉県民の日」、10月「祝・千葉市民の日」)、ミニコンサートを18年連続で開催しております。



各種スポーツ大会への協賛

平成23年9月に、当行主催による「第22回千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を、県内ゲートボール愛好家60チーム・約330名の参加により開催いたしました。

また、「千葉県障害者スポーツ大会」への協賛及び選手参加(5月)や、その他県スポーツ振興財団への協賛も行っております。



社会奉仕活動

「小さな親切」運動の推進

35都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動において、昭和50年以来、千葉県本部及び事務局として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈る「実行章」は、千葉県内で平成23年度上期(4月～9月)において266名が受章されました(累計約307千人で全国第2位)。当行行員は全会員登録しており、清掃等のボランティア活動や寄付・募金活動を実施しております。



地域交流活動への積極的参加

例年、春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフ及びその家族がボランティア参加しております。

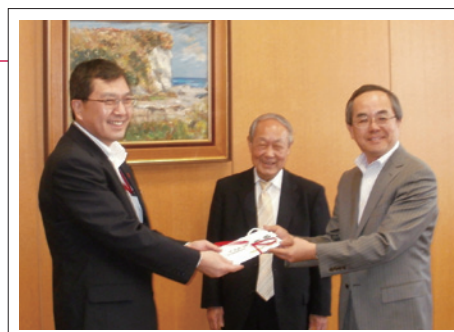
また、国道14号・357号沿線の16企業・団体に組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道を清掃するなど、環境保護活動についても積極的に展開しております。(平成22年度延べ221名参加)



交通安全意識を啓蒙

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協会」より、県内新中学一年生へスポークライト(自転車事故防止用反射板)9,000個を贈呈しております(17年間で延べ213,200個)。

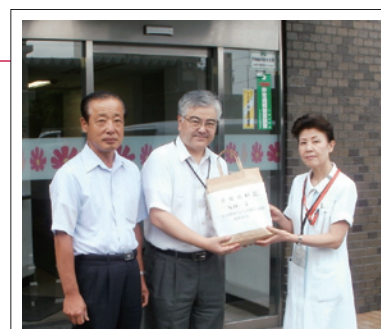
また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間におけるポスターの全店掲示及び、交通安全リボンを全行員・スタッフが着用しております。



寄付活動

行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会会員の柏戸病院へ寄贈しております。また、全店から集めた古切手・使用済テレカ等を、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しております。これらは、障がい者への車椅子購入やボランティア活動資金に利用されております。

当行役職員による募金活動「ともしびの会」より、年末に県内の養護施設等へ浄財を寄贈しております。



経営方針

平成23年度
中間期の
概要

トピックス

地域への
取組み

経営・内部
管理体制等

中間財務
諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・
株主の状況

中間連結
決算

自己資本の
充実の状況等
について

地域密着型金融の恒久的な取組み

地域密着型金融への取組み方針

当行は、平成23年5月に平成23・24年度の2年間の計画として「地域密着型金融の恒久的な取組み」を策定・公表いたしました。お客さまの経営課題やニーズに積極的にお応えし、コンサルティング機能の発揮により、地域の・お客さまの発展と成長持続に向け誠心誠意取組んでいくことが地元金融機関としての最大の使命であると考えており、この遂行のため、地域密着型金融のさらなる推進に取組んでまいります。

地域密着型金融推進に係る取組みとして、①ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化、②事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底、③地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献を大きな3つの柱として、それぞれ以下の項目につきまして、積極的に取組んでまいります。

金融円滑化の取組みの概要

金融円滑化に関する基本方針

当行は、「地域とともに」「お客さまのために」「『親切』の心で」の企業理念のもと、金融機能の提供を通じて地域の皆さまのお役に立つことが使命であるとの考えに基づき、従来より地域への円滑な資金供給やお客さまの経営支援等の地域密着型金融に積極的に取組んでまいりました。最近の経済金融情勢および雇用環境の下における地域の中小企業者および住宅ローンご利用のお客さまのお借入の返済に係る負担の状況を鑑み、地域金融機関としての業務の健全かつ適切な運営の確保に配慮しつつ、お客さまの事業活動の円滑な遂行およびこれを通じた雇用の安定並びに生活の安定を期し、もって地域社会のさらなる発展と地域経済活性化に貢献することを目的とし、「金融円滑化に関する基本方針」を制定しました。

頭取を委員長とする横断的な組織である「金融

〈地域密着型金融の数値目標の進捗状況(平成23年4月～平成23年9月)〉

取組み項目	数値目標 平成23年4月～25年3月	平成23年4月～23年9月の 実績	進捗率(%)
事業承継案件への関与数	100社以上	59社	59%
各種講演会、セミナーの開催数	50回以上	23回	46%
年金等ライフプランニング相談会開催数	500回以上	128回	26%
創業・新事業支援融資	150件以上	29件	19.3%
営業斡旋、ビジネスマッチング等の数	200件以上	453件	226.5%
経営改善支援取組み率(注1)	11%以上	10.1%	91.8%
経営改善支援先に対する経営改善計画策定先数	60先以上	32先	53.3%
経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率(注2)	10%以上	4.8%	48%
再生計画策定率(注3)	10%以上	3.5%	35%
事業再生に向けた取組み先数(注4)	10先以上	8先	80%
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資	動産・債権譲渡担保融資案件 200件	56件	28%
2級ファイナンシャルプランニング技能士 (中小事業主資産相談業務)	100名増加	3名	3%
職場体験学習の開催	20回以上	3件	15%

(注1) 経営改善支援取組み率=経営改善支援先(正常先除く)/期初債務者数(正常先除く)

(注2) 経営改善先に対する債務者区分ランクアップ率=経営改善支援先のうち期初比債務者区分ランクアップ先/経営改善支援先数(正常先除く)

(注3) 再生計画策定率=再生計画策定先数(正常先除く)/経営改善支援先数(正常先除く)

(注4) 中小企業再生支援協議会支援決定、千葉中小企業再生ファンド活用、RCC企業再生スキーム活用、DES・DDSの活用、再生企業に対するエグジットファイナンス実行、外部コンサルティング会社活用等の先数

円滑化推進委員会」および各営業店に配置しました「金融円滑化責任者」を中心として、地域における金融の円滑化への取組みを全行あげて強化してまいります。

基本方針

■ご相談・お申込みに対する対応

- ・お客さまからの新規のお借入れ、借入れ条件の変更等のご相談・お申込みに対しては、真摯に対応するとともにお客さまの事業の状況やご事情を考慮し、できる限り、柔軟な対応に努めてまいります。
- ・お借入れの返済に支障を生じており、または生ずるおそれのあるお客さまからの借入れ条件の変更等のご相談を受けた場合には、お客さまの事業についての改善、または、再生の可能性その他の状況を勘案しつつ、ご相談に真摯に対応し、できる限り、借入れ条件の変更等を行うよう努めてまいります。

■十分なお説明の実施

- ・お取引内容、借入れ条件について、お客さまにご納得いただけるよう、十分な説明を行うよう努めてまいります。
- ・お申込みにお答えできない場合は、これまでの取引関係等を踏まえ、その理由について、お客さまにご納得いただけるよう、可能な限り迅速かつ丁寧な、十分な説明を行うよう努めてまいります。

■適切な審査の実施

お客さまが借入れ条件の変更等をしたことがある、返済が滞っているというような形式的な事象にとらわれることなく、お客さまの実情をきめ細かく把握するよう、適切な審査に努めてまいります。

■金融円滑化に関するご意見・苦情への対応

新規のお借入れやご返済条件の変更等に関するご要望およびご意見に対しては、真摯な対応を行うとともに迅速かつ適切な対応に努めてまいります。

■目利き能力の向上

形式的、表面的ではなく、お客さまの現在おかれている実際の状態をきめ細かく把握し、適切な判断を行うため、行内研修などにより、行員の目利き能力向上に努めてまいります。

■リレーションシップの発揮

お借入れの返済に係る負担の軽減に資する措置をとった後も、お客さまとのリレーションシップを大切に、継続的なご相談受付、経営相談・経営指導等を行うよう努めてまいります。金融円滑化推進委員会は、この基本方針を各営業店の「金融円滑化責任者」を通じ営業店に周知するとともに、必要に応じてその見直しを行ってまいります。

経営方針

平成23年度
中間期の
概要

トピックス

地域への
取組み

経営・内部
管理体制等

中間財務
諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・
株主の状況

中間連結
決算

自己資本の
充実の状況等
について

取組み方針

■中小企業者のお客さまへの取組み方針

- ・ 中小企業者のお客さまからの借入れ条件の変更等のお申込みがあった場合には、お客さまの事業についての改善、または、再生の可能性等を十分に検討し、きめ細かくご相談に応じてまいります。
- ・ 中小企業者のお客さまからのご要望がある場合には、積極的に経営改善計画書の策定・実践を支援してまいります。また、継続的に、中小企業者のお客さまの経営改善計画の進捗状況を確認・検証し、経営改善計画の見直しを助言、支援するなど、当行のコンサルティング機能を発揮し、きめ細かな対応を行ってまいります。
- ・ お客さまが当行以外の金融機関からお借入れされている場合には、お客さまから同意をいただいた上で、守秘義務に留意しつつ、当該他の金融機関と緊密な連携を図ってまいります。
- ・ 企業再生支援機構、事業再生ADR解決事業者、中小企業再生支援協議会などの外部機関と連携し、様々な再生手法の中から最適な再生手法を活用し、中小企業のお客さまの再生に取り組んでまいります。
- ・ 経営改善相談に対応するための実践的な行内研修を行い、お客さまからのご相談に対応できるよう、人材の育成に努めてまいります。

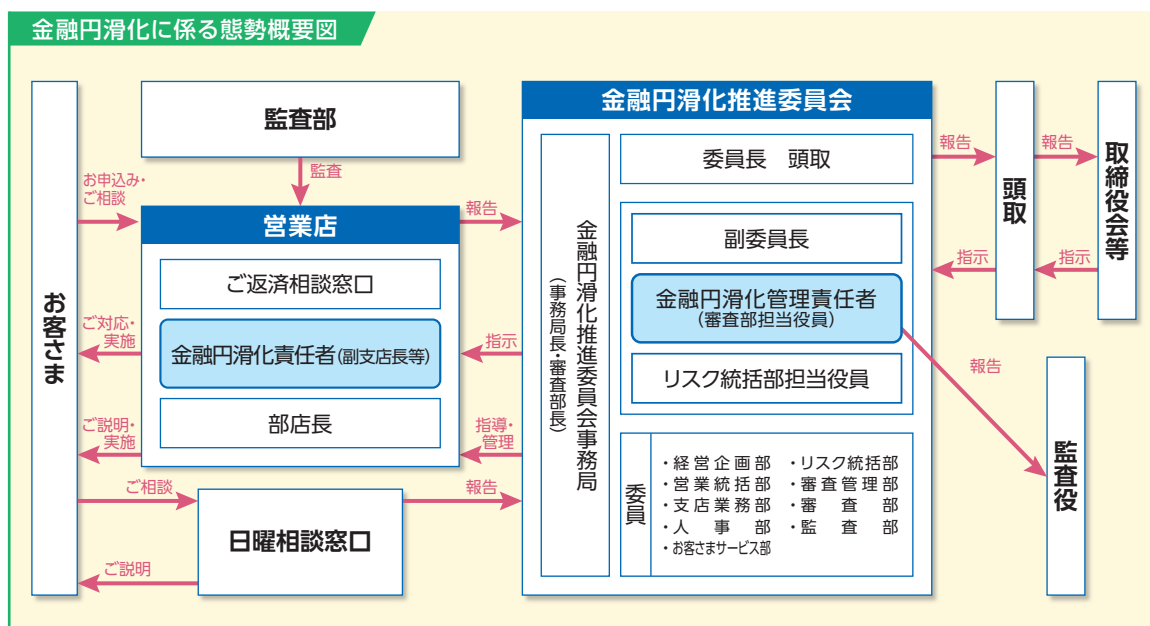
■住宅ローンをご利用中のお客さまへの取組み方針

- ・ 住宅ローンをご利用されているお客さまからの借入れ条件の変更等のご相談・お申込みがあった場合には、お客さまの財産の状況および収入の状況を十分に勘案し、きめ細かくご相談に応じてまいります。
- ・ お客さまが当行以外の金融機関からお借入れをされている場合、または、住宅金融支援機構等のお取引がある場合には、お客さまから同意をいただいた上で、守秘義務に留意しつつ、他の金融機関、住宅支援機構等との緊密な連携を図ってまいります。

金融円滑化に係る態勢整備

■金融円滑化推進委員会の設置

当行では、平成21年12月1日に金融円滑化に向けた取組み強化を目的として、頭取を委員長とした「金融円滑化推進委員会」を設置いたしました。取締役会等は「金融円滑化推進委員会」から金融円滑化への取組み状況の報告を受け、金融円滑化への取組みが十分であるかを点検し、必要に応じて、「金融円滑化推進委員会」を通じて、全行に向けて改善を指示させる態勢といたします。



■金融円滑化『ご返済相談窓口』の設置

お客さまからのご返済に関するご相談等にお応えするため、全営業店に「ご返済相談窓口」を設置いたしました。

■金融円滑化管理責任者の設置

審査部担当役員を金融円滑化管理責任者に任命し、金融円滑化管理態勢の整備・確立に向けた方針の検討、取引先企業に対する経営相談・経営指導及び経営改善に向けた取組み、能力向上を積極的に支援する方針の検討を行ってまいります。

■金融円滑化責任者の設置

お客さまからのご相談等の把握・管理・推進を目的として、全営業店に「金融円滑化責任者」を任命し設置いたしました。

資産・財務の健全性向上

経営サポート支援(資金繰りの下支え・格付劣化防止)強化による貸出資産の健全性確保への取組み

県内中小企業の経営環境が引続き厳しい状況にある中、東日本大震災の発生による間接的影響を受けているお取引先企業は依然として多く、加えて急速な円高進行に伴う輸出関連の不振により、売上減少・為替差損発生等、お取引先企業のさらなる業績悪化が懸念されます。お取引先企業の資金繰りの下支えとともに、そのニーズに十分配慮したコンサルティング機能の発揮により、経営改善・事業再生等を図ることが当行の収益力や健全性向上につながるとの考えに基づき、お取引先企業の経営課題の把握・分析によるサポート・支援に積極的に取組んでおります。

一方、抜本的な事業再生支援が必要なお取引先企業については、中小企業再生支援協議会・地域再生ファンド・株式会社整理回収機構(RCC)・外部コンサルティング会社と連携した再生支援に積極的に取組んでおります。また、半期毎に「支店SB(貸出資産健全化)会議」を開催し、個社別方針に基づいた不良債権削減への取組みを継続しております。

平成23年度下期におきましても、地域金融機関としてお取引先企業を金融面で下支えする使命を果たすとともに貸出資産の健全性を確保するために、「地域密着型金融の恒久的な取組み」を推進し、「コンサルタント機能発揮によるお取引先企業の経営課題解決に向けたサポート支援」の強化を図るべく、経営改善支援・事業再生支援に積極的に取組んでまいります。

実践力とマネジメント力重視の人材育成

「高い経営品質の実現への挑戦」に向け、行員一人ひとりに焦点をあてた教育プログラムを実施し、様々な環境の中で「考え行動できる自律した人材」を育成してまいります。具体的には、お客さまに信頼される銀行を目指し、若手行員の早期育成や管理職・経営職のマネジメント力の向上を重視した教育を引続き努めてまいります。お客さまの高度化・多様化するニーズに的確にお応えできるコンサルティング営業力の強化に重点を置いた事業金融強化プログラムやお客さま満足度の向上を目指した店頭営業力強化研修の充実・強化を図り、担い手を育成してまいります。また、市場金融部や審査部、営業統括部ナレッジ企画室といった専門性の高い部署でのトレーニー研修によるプロフェッショナル人材の育成を引続き実施してまいります。そして、次世代を担うべき支店長や管理者の育成を目的とした教育プログラムの充実を図ってまいります。

子会社・関連会社について

当行グループ全体の財務内容の強化を図るため、各社の業務拡大とリスク管理の強化を進めてまいります。さらに、子会社におけるコスト削減と業務の効率化を推進し、子会社各社の自立経営体制を整備してまいります。また、お客さまのお役に立つ総合金融サービスの提供に一段と注力してまいります。

経営方針

平成23年度
中間期の
概要

トピックス

地域への
取組み

経営・内部
管理体制等

中間財務
諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・
株主の状況

中間連結
決算

自己資本の
充実の状況等
について